



医療英語(3) :
"compromise"の医療英語的意味分析(人文社会科学系)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 平井, 美津子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00010832

講座

医療英語 (3)

— “compromise” の医療英語的意味分析 —

平井美津子*

(大阪府立看護大学医療技術短期大学部)

Medical English (3)

—The Semantic Analysis of “Compromise” in Medical English—

Mitsuko Hirai*

(Osaka Prefecture College of Health Sciences)

An original meaning of the verb “compromise” was to be to adjust or settle an argument or difference between parties. The Japanese translation *dakyou suru* 「妥協する」 is generally applied. However, because “compromise” tends to be used as a derivative of the original meaning in the medical field it is often said among health and medical professionals and medical translators that the Japanese translation of “compromise” is not adequate. In this study, examples of “compromise” used in medical papers and books were collected, analyzed and translated. As a result, it was found that the meaning of “compromise” came to imply the sense “to cause the decline in the physical function or condition.” Therefore, the proper Japanese translation for the English word “compromise” would be *teika saseru* 「低下させる」 (or *yokusei suru* 「抑制する」), and it is suggested that these terms be used.

Key words: compromise; Japanese translation; derivative

1. はじめに

“compromise” は名詞または動詞として用いられ、主に

名詞例: We were optimistic about achieving a com-
promise.

動詞例: We can compromise no further. (市川, 1999)

というように「妥協(する)」という意味が一般的である。この“compromise”が医療英語上で用いられると「妥協」という本来の意味からかなり派生した形で現れてくる。しかし医療英語における“develop”が「現れる(出現する, 発現する), 発生する」^{*)}という和訳で定着しているのとは違って“compromise”はまだ十分に和訳が定着していない単語である。例えば, 次の例文

名詞例: Cardiopulmonary compromise after use of topical and submucosal alpha-agonists: (PMID^{*)}: 9230324)

動詞例: ...the anthracycline should be discontinued if left ventricular function is compromised. (Woodley, 1992)

において「妥協」以外に従来の英和辞書に記述されている和訳のどれをあてはめても十分とはいえない。医学の専門家の間ではこの“compromise”の概念が理解された上で用いられているが, 実際の翻訳現場ではその和訳が確定されていないため意味が曖昧なことが多い。

外科的な領域では, 心臓や肺, 腎臓などの主要器官に病気や手術などで大きな制約があるような患者を“compromised patient”という場合がある。また次の例文,

Infection in the compromised host. (PMID: 654962)

のように感染症や免疫学領域でよくみられる“com-

*) 非常勤講師

promised host”は「免疫力の低下により細菌の存在と活動を許している宿主は、あたかも細菌との間で妥協が成立 (compromise) している状態である。このような患者を compromised host と呼ぶ」(相川, 1999) と説明されている。しかし続けて「さてこの言葉を和訳するとどうなるのか、筆者が調べた範囲では定説はない」と述べられている。

今回、「和訳が定着している」とは、一般の辞書はもとより専門分野における辞書においてもその和訳が記述されているものと定義した。この観点からいうと、医療英語における“compromise”は、その概念は専門家の間では理解されているが一般的ではなく、また現時点ではその和訳が英和辞書に明示されていないことから、医療英語上で用いられている“compromise”の実例を取り上げて解析し、そこから適切な和訳を見いだして提案する必要があると考えた。

2. “compromise”の実例

ここで医療英語上で用いられている“compromise”の実例を集め、動詞として用いられた例を取り上げる(なお試訳は筆者によるものである)。

- 1) As the cumulative dose approaches 450-550 mg/m², serial radionuclide ventriculograms should be performed and the anthracycline should be discontinued if left ventricular function is compromised. (Woodley, 1992)

(累積用量が 450-550 mg/m² になる場合、連続放射性核種心室造影を実施し、左室機能が低下してきたなら、アントラサイクリン投与を中止すべきである。)

- 2) Patients with preexisting DM who become pregnant are particularly vulnerable to fetal complications, and maternal health can be compromised when diabetic complications occur.

(Woodley, 1992)

(糖尿病患者が妊娠すると特に胎児合併症の危険性が高くなり、また糖尿病合併症が起きた場合には、母体の健康状態が低下する可能性がある。)

- 3) Effective DNA vaccination of cattle with the mycobacterial antigens MPB83 and MPB70 does not compromise the specificity of the comparative intradermal tuberculin skin test. (PMID: 11137264)

(マイコバクテリア性抗原 MPB83, MPB70 で牛に効果的な DNA ワクチンを接種すれば、相対的皮内ツベルクリン皮膚反応の特異性を低下させることはない。)

- 4) Cellular immunity is not compromised by high serum corticosterone concentrations in prairie voles. (PMID: 8997359)

(プレーリーハタネズミにおいて、高濃度の血清コルチコステロンにより細胞性免疫は低下しない (抑制されない))。

- 5) Does chorionic villus sampling compromise fetal umbilical blood flow? (PMID: 7899278)

(絨毛膜絨毛をサンプリングすると、胎児の臍帯血流量は低下するの?)

- 6) He said Cipro was one of a family of antibiotics that could be used to treat a range of diseases other than anthrax, and that to use it too readily would compromise its effectiveness by developing drug-resistant pathogens. (Vedantam, 2001)

(シプロロは一群の抗生物質の1つで、炭疽菌以外にも広く病気を治療するのに用いられるが、安易に使用しすぎると薬剤耐性菌が出現してその有効性を低下させる」と彼は述べた。)

3. “compromise”の分析

英語のまま普及した“informed consent” (インフォームド・コンセント: 説明と同意, 説明の上での同意) のように“compromised host”も医学文献中で英語のまま記載されていることがある。しかし“compromise”が名詞あるいは動詞として用いられている場合、和訳が確定していないと意味は読み手に委ねられることになり不都合が生じる。そこで“compromise”の和訳が必要となる。まず *The Oxford English Dictionary (OED)* (Simpson, 1991) をもとに“compromise”の意味変化を考える。

To make a settlement by the decision of an arbiter between parties

↓

To come to terms by mutual concession

↓

To adjust for practical purposes of rival courses of action, systems, etc. by the sacrifice or surrender of a part of each

↓

To entrust a matter to a person for his decision or award

↓
To expose oneself or one's reputation, credit, etc. to danger

OED を分析すると、仲裁者が当事者間の譲歩を導く→当事者間で互いに妥協して解決する→一方の犠牲を伴って譲歩に至る→譲歩した方が何らかの「もの」を相手方に委ねる→その委ねられた「もの」が相手方で危険な状態にさらされる、という流れの中で第三者的な何らかの「もの」の存在が示唆されるようになる。ここまでで医療英語の“compromise”の意味が成り立っているのであれば、従来の辞書で問題はないが、医療英語的にはさらに派生した意味が存在する。つまり対象が委ねる「もの」、すなわち「医学的な身体的機能あるいは状態」が危険な状態にさらされた結果、それらがどうなるかというところまでの意味が必要となる。そこで下の例文をみてみよう。

He compromised himself.=He compromised his honor [reputation]. (彼は恥をさらした。) (小西, 2001)

この例文では、主語が対象である彼自身の中にある名誉や体面を傷つけ、対象の「本来持っていた正常な状態を失う」、すなわち「損う」(山田, 2001) というネガティブな結果を引き起こし、そのことを“compromise”で表現している。これを医療英語的に考えるために2項に示した5)の例文を取り上げる。

Does chorionic villus sampling compromise fetal umbilical blood flow?

上の例文から、主語である“chorionic villus sampling”が、胎児の中にある“umbilical blood flow”に対しネガティブな働きかけを行い、“fetal umbilical blood flow”がもつ本来の正常な能力を弱め損なった結果、「低下させる」という概念が生まれてくる。つまり2章で示した他の例文も同様に「医学的な身体的機能あるいは状態」を「低下させる」ことを“compromise”で表していることから(機能、状態を)「低下させる」(あるいは「抑制する」)という和訳は妥当であると考えられる。

4. おわりに

医療英語の中にはもちろん文脈上「妥協」が適訳である場合もしばしば見受けられる。しかし“compromise”

の対象が「医学的な身体的機能や状態」を表す場合、本来の意味よりかなり派生した形で現れるのにもかかわらず、医療英語における“compromise”はその和訳が定着していない特殊な例であることに着目したことから、分析を行う必要があると考えた。

今回の分析から医療英語の“compromise”の和訳は、動詞では(機能、状態を)「低下させる」(あるいは「抑制する」)が妥当であると考えられる。この和訳が定着するためには辞書に記述されることが望まれる。なぜなら、英和辞書に記述されている和訳というのは、初めてその単語を引いた人にとって、文脈によって多少のニュアンスの違いは生じるかもしれないが、訳出する際のめやすとなるからである。ちなみに“compromise”の場合、動詞の和訳から名詞“compromise”あるいは形容詞化した“compromised”の和訳³⁾につながると考えられるので、名詞では(機能、状態の)「低下」(あるいは「抑制」)、形容詞化した“compromised”では(機能、状態が)「低下した」(あるいは「抑制された」)、さらに免疫・感染症領域においては(免疫力が)「低下した」(あるいは「抑制された」)という和訳⁴⁾が可能であるとする考えを提案する。

注

- 1) 以下は医療英語における“develop”の実例である。Epilepsy-like seizure developed on the 46th day of treatment with zotepine... (てんかん様発作はゾテピン治療で46日目に発現した。) (横井川, 1995)
The pt felt well until four days ago, when numerous petechiae developed on the trunk. (4日前まで好調であったが、軀幹に点状出血が多数現れた。) (羽白, 1989)
- 2) PMIDはNational Library of Medicine—PubMed (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/>) より引用したことを示す。今回取り上げた実例はすべてタイトル部分である。
- 3) 今回「動詞として用いられた例」以外に「名詞として用いられた例」「形容詞化した例」についても検証を行った。紙面の都合上参考までに一部の事例について触れておく。

名詞として用いられた例

If a multinodular goiter grows rapidly; causes hoarseness, dysphagia, or respiratory compromise; or is cosmetically unacceptable, it can be surgically removed. (Woodley, 1992)

(多結節性甲状腺腫が急激に増大し、嘔声、嚥下障害、呼吸(機能)低下を引き起こしたり、美容上受け入れられないのなら、外科的に切除することが可能である。)

Cardiopulmonary compromise after use of topical and submucosal alpha-agonists: (PMID: 9230324)

(α 作動薬の局所および粘膜下投与後の心肺(機能)の低下:)

形容詞化した例

Acinetobacter causes blood poisoning in patients with compromised immunity. (Levy, 1998)

(アシネトバクターは免疫力が低下した患者に血液中毒を引き起こす。)

Does delivery improve maternal condition in the respiratory-compromised gravida? (PMID: 9464731)

(分娩は呼吸(機能が)低下した妊婦の母体の状態を改善するのか?)

- 4) “compromised” に関してはすでに「易感染性の」「免疫低下の」という和訳を記述している辞書もみられる。しかしこれは感染症や免疫という限られた領域に限られ、これだけでは医療英語全般における“compromise”の意味をカバーしきれていないことから形容詞化した例の分析も必要と考えた。

謝 辞

本研究に際し、多大なご協力をいただきました関西翻訳ゼミナール講師 奥田虔三先生、関西学院大学文学部非常勤講師 久部幸次郎先生に深謝いたします。

文 献

- 相川直樹, 阿部 弘, 市川陽一, 小川 龍, 上島国利, 寺野 彰 (1999) “気になる英語医学用語の解釈“, 診断と治療社, 東京, p.60.
- 羽白 清 (1989) “臨床英文の正しい書き方“, 金芳堂, 京都, p.173.
- 市川繁治郎, 沢村 灌, 原 公章, Boyd, S., Dutcher, D., Snowden, P., ほか (1999) “新編 英和活用大辞典“, 研究社, 東京, p.499-500.
- 小西友七, 南出康世 (2001) “ジーニアス英和辞典 第3版“, 大修館書店, p.375.
- Levy, S.B. (1998) The challenge of antibiotic resistance. *Scientific American*, 278:32-39.
- Simpson, J.A., Weiner, E.S.C. (1991) “The Oxford English Dictionary“, 2nd ed., Vol.III, Clarendon Press, Oxford, p.636.
- Vedantam, S. (2001) Bioterrorists bank on a slow cultivation of fear. *International Herald Tribune*, Oct. 19.
- Woodley, M., Alison, W. (1992) “Manual of Medical Therapeutics“, 27th ed., Little, Brown and Company, Boston, p.369, 393, 406.
- 山田忠雄, 金田一京助, 柴田 武, 酒井憲三, 倉持保男, 山田明雄 (2001) “新明解国語辞典“, 三省堂, 東京, p.813-814.
- 横井川泰弘 (1995) “医学論文英訳のテクニック“, 金芳堂, 京都, p.155.

(受付日 2001 年 10 月 3 日, 受理日 2002 年 1 月 25 日)